

報道関係者各位

令和8年6月30日

シベリア抑留体験者 新家 苞氏の逝去について

ウズベキスタンでの日本人抑留体験者でナボイ劇場の建設にも従事されました新家 苞（にいのみ しげる）さん（大阪府高槻市）が、6月30日（火）に逝去されましたのでお知らせいたします。

【新家 苞氏 略歴】

- | | |
|----------------|--|
| 大正14(1925)年 | ・ 1月4日生まれ |
| 昭和20(1945)年10月 | ・ ウズベキスタン・ナボイ劇場建設に従事 |
| 昭和22(1947)年11月 | ・ ナボイ劇場完成
完成後、カザフスタンカラカンダ地区の収容所で炭坑作業に従事 |
| 昭和24(1949)年 | ・ 高砂丸で舞鶴に帰還 |

【舞鶴市との関わり】

- ・ 手記・体験記を引揚記念館に寄贈
- ・ 平成30年(2018)年・故 ジャリル・スルタノフ元日本人抑留者記念館館長が引揚記念館来館時で面談。
- ・ 令和元年(2019)年11月・ウズベキスタン文化芸術訪問団が来鶴し、総合文化会館でのセレモニー出演

【ご逝去日】

令和8(2026)年6月30日 逝去 101歳



まち
この舞鶴に
北陸新幹線を。

舞鶴引揚記念館（担当：館長 嵯峨根吉宏）
〒625-0133 舞鶴市字平1584
[TEL:0773-68-0836](tel:0773-68-0836)、[FAX：0773-68-0370](tel:0773-68-0370)
E-mail:hikiage@city.maizuru.lg.jp